

# いわき工場の 化学物質管理とリスクコミュニケーション

株式会社クレハ  
いわき工場

## 会社 および いわき工場概要

1. レスポンシブル・ケア(RC)体制と方針
2. 化学物質管理
3. リスクコミュニケーション

2005年10月1日 呉羽化学工業株式会社から

株式会社クレハへ

「エクセレントカンパニー」を目指して

創立:1944年(昭和19年)6月

資本金:124億6000万円

売上高:818億円

主要製品:機能樹脂, 炭素製品, 無機薬品, 有機薬品,  
医薬品, 農薬, 農材, 食品包装材, 家庭用品

従業員数:1,349人

(2006年3月末現在)

KUREHA

# いわき工場の概要

株式会社クレハ



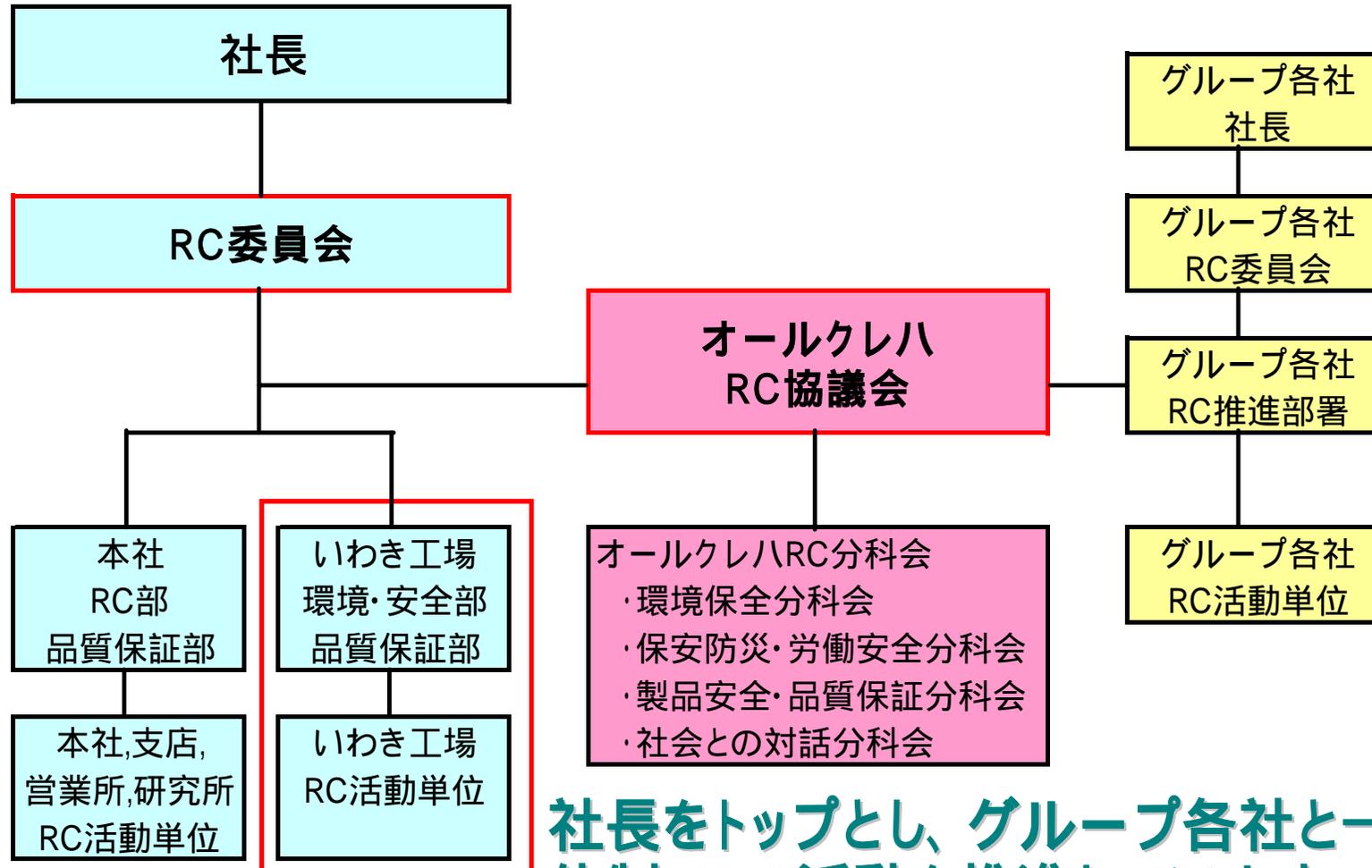
**KUREHA**

## 会社 および いわき工場概要

1. レスポンシブル・ケア(RC)体制と方針
2. 化学物質管理
3. リスクコミュニケーション

# クレハグループのRC体制

株式会社クレハ

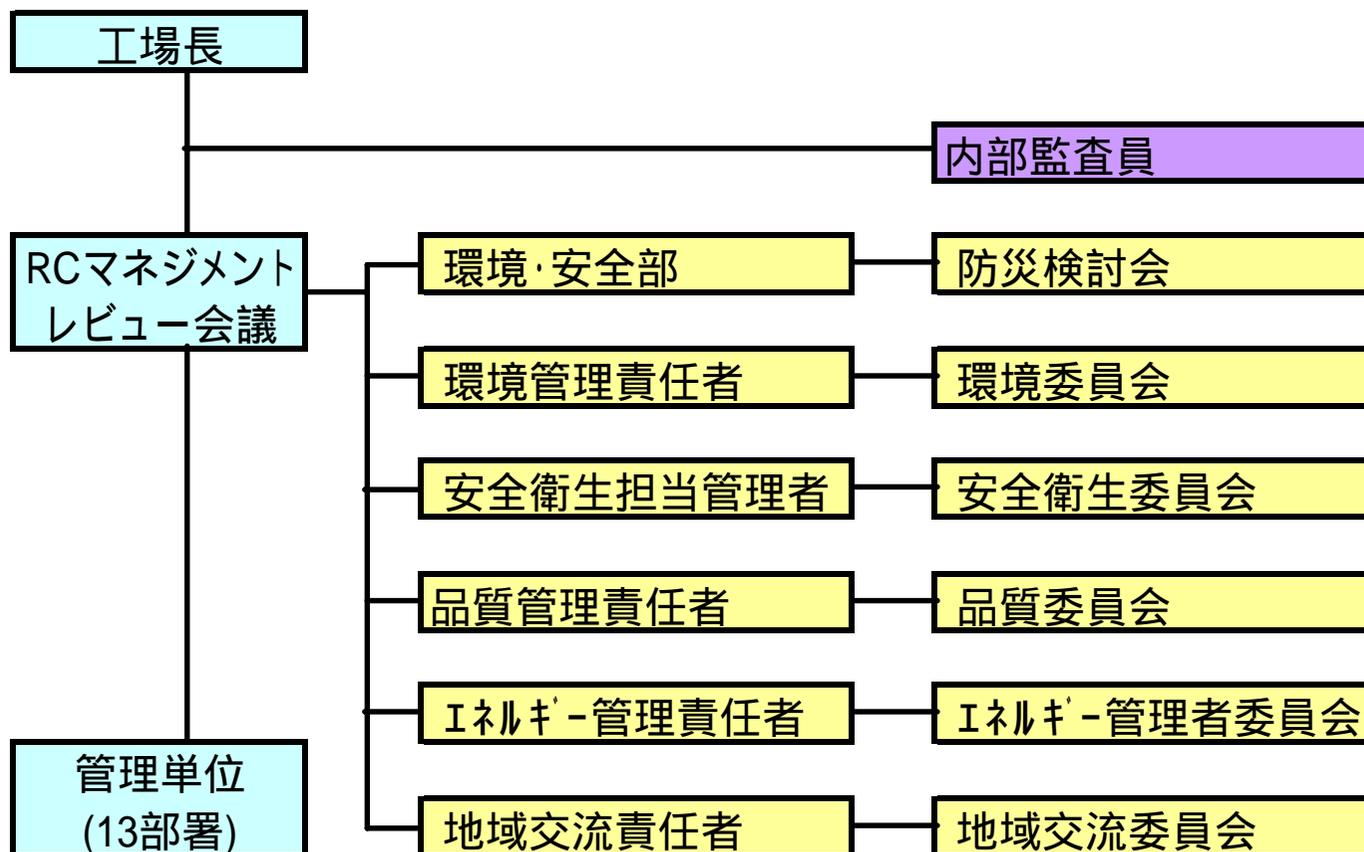


社長をトップとし、グループ各社と一体の体制でRC活動を推進しています。

KUREHA

# いわき工場のRC推進体制

株式会社クレハ



工場長をトップに、各責任者で構成するRCマネジメントレビュー会議のもとでRC活動を推進しています。

KUREHA

1. RC活動の質の強化と成果

2. 生産技術力の向上

(世界トップレベルの生産拠点の構築)

RC活動を最重要方針と位置づけて運営

(経営の基軸に据える)

工場長と全従業員のRCに関する直接対話を実施



# いわき工場のRC方針

株式会社クレハ

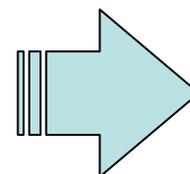
- 1 保安防災、環境保全、労働安全衛生、品質保証・製品安全およびエネルギー管理に関する法規制、社会的規範を遵守して生産活動を行います。
- 2 保安防災活動を推進して予防とその対策の整備を図るとともに、万一の事故に備え緊急時対応能力の維持・向上に努めます。
- 3 事業活動によって生ずる環境への影響を的確に把握し、環境負荷物質の排出量削減、省エネルギー・省資源およびリサイクルを推進して環境改善に努めます。
- 4 無事故・無災害を達成し、快適な職場環境の維持・向上を図り、従業員ならびに関係者の安全と健康を守ります。
- 5 マーケットの要求を素早く的確に把握し、お客様に満足される品質と安全かつ安心していただける製品を迅速に提供する生産活動を進めます。
- 6 地域社会や行政・業界とのコミュニケーションを深め、企業の社会的責任を果たすとともに信頼される工場を目指します。

KUREHA

## 会社 および いわき工場概要

1. レスポンシブル・ケア(RC)体制と方針
2. 化学物質管理
3. リスクコミュニケーション

- ・環境保全(ISO-14001)
- ・労働安全衛生(OHSAS-18001)
- ・品質保証(ISO-9001)
- ・エネルギー管理



**統合運用**

統合することは

環境保全 - 労働安全衛生の共通課題である

”化学物質の管理”に有効

# 化学物質管理の対象物質

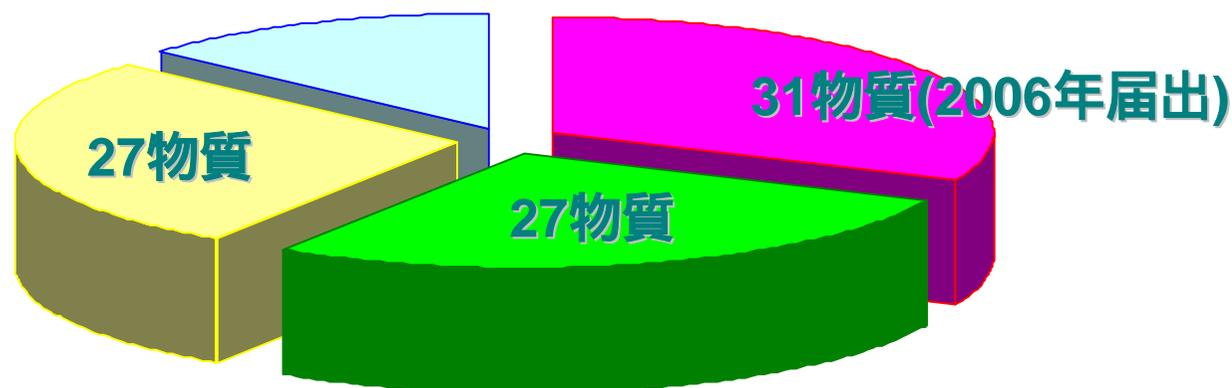
株式会社クレハ

いわき工場で使用・管理している化学物質は約100種類

PRTR法対象物質

福島県化学物質適正管理指針対象物質

法対象外物質を自主管理対象物質として全て管理



- PRTR法対象(取扱1t/y以上)
- PRTR法対象(取扱1t/y未満)
- 福島県指針対象
- 自主管理対象

KUREHA

評価点数=(環境影響毎に定める係数)×(排出量)

- ・評価点の大小で環境への影響度を評価
- ・改善対策検討の優先順位決定に活用

<環境影響毎に定める係数>

化学物質の毒性(主に慢性毒性)を考慮

エコケミストリー研究会提案の毒性重み付け係数の考え方を参考

# 排出量削減対策の実施例

株式会社クレハ

## 原料(溶剤)転換

テトラクロロエチレン, ジクロロメタン

## 原料回収(クレハ式活性炭吸着回収設備)

p-ジクロロベンゼン, クロロベンゼン等

## 原料回収(圧縮冷却による回収)

1,1-ジクロロエチレン, 塩化ビニル

## 無害化(希薄排ガスの燃焼処理)

1,3-ブタジエン, フェノール等



クレハ式活性炭吸着  
回収設備(GASTAK)

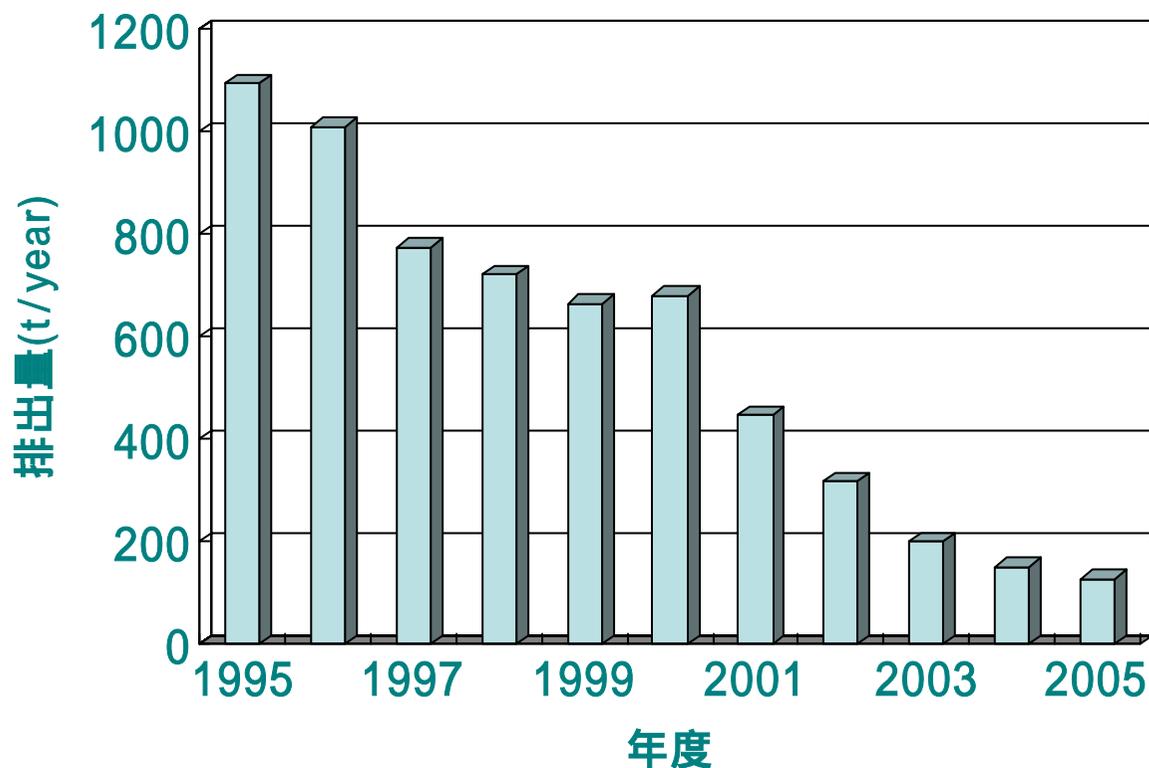


燃焼設備

KUREHA

# 管理の結果～PRTR物質排出量推移～

株式会社クレハ



リスク評価も導入して管理してきた結果

2005年度のPRTR法対象物質排出量を

初年度(1995年度)比で約1/10に削減

KUREHA

## 会社 および いわき工場概要

1. レスポンシブル・ケア(RC)体制と方針
2. 化学物質管理
3. リスクコミュニケーション

# いわき工場のリスクコミュニケーション年表

株式会社クレハ

西暦	2001		2002		2003			2004				2005				2006				2007																
月	4	12	7	8	9	1	5	7	9	11	11	12	1	1	5	7	9	9	11	12	1	3	5	9	9	11	1	2	11							
実施内容	第1回地域環境懇話会	第2回地域環境懇話会	RC報告書2002発行	双方向コミュニケーション紙「にしき」創刊	第3回地域環境懇話会	「にしき」第2号発行	「にしき」第3号発行	RC報告書2003発行	「にしき」第4号発行	第1回RC地域説明会開催	地域行政嘱託員への説明会	「にしき」第1回RC地域説明会特集号発行	「にしき」第5号発行	第4回地域環境懇話会	「にしき」第6号発行	RC報告書2004発行	福島県化学物質リスク推進セミナー（発表）	「にしき」第7号発行	第2回RC地域対話集会	「にしき」第8号発行	第5回地域環境懇話会	「にしき」第9号発行	NEDO PRTデータ活用セミナー（発表）	「にしき」第10号発行	RC報告書2005発行	第3回地域対話集会	第16回化学物質と環境円卓会議（発表）	「にしき」第11号発行	第6回地域環境懇話会	「にしき」第12号発行	RC報告書2006発行	「にしき」第13号発行	第4回RC地域対話集会	「にしき」第14号発行	福島県化学物質リスク事例発表・交流会（発表）	第5回RC地域対話集会（予定）

注) 工場見学, 地域清掃ボランティア, 地域行事への参加を除く

KUREHA

# RC地域対話集会の開催

株式会社クレハ

## ～開催の背景～

1. 創業から地域社会との共生がテーマ
2. 1995年 RCの実施を社会に宣言
3. RCの課題に、自主的・積極的に取り組み
4. RCの取り組み内容と実績を地域住民の皆様へご理解頂き、RCへのご意見を頂くことが必要と考えた
5. その考えから「RC地域対話集会」を開催(2003年度から毎年実施)

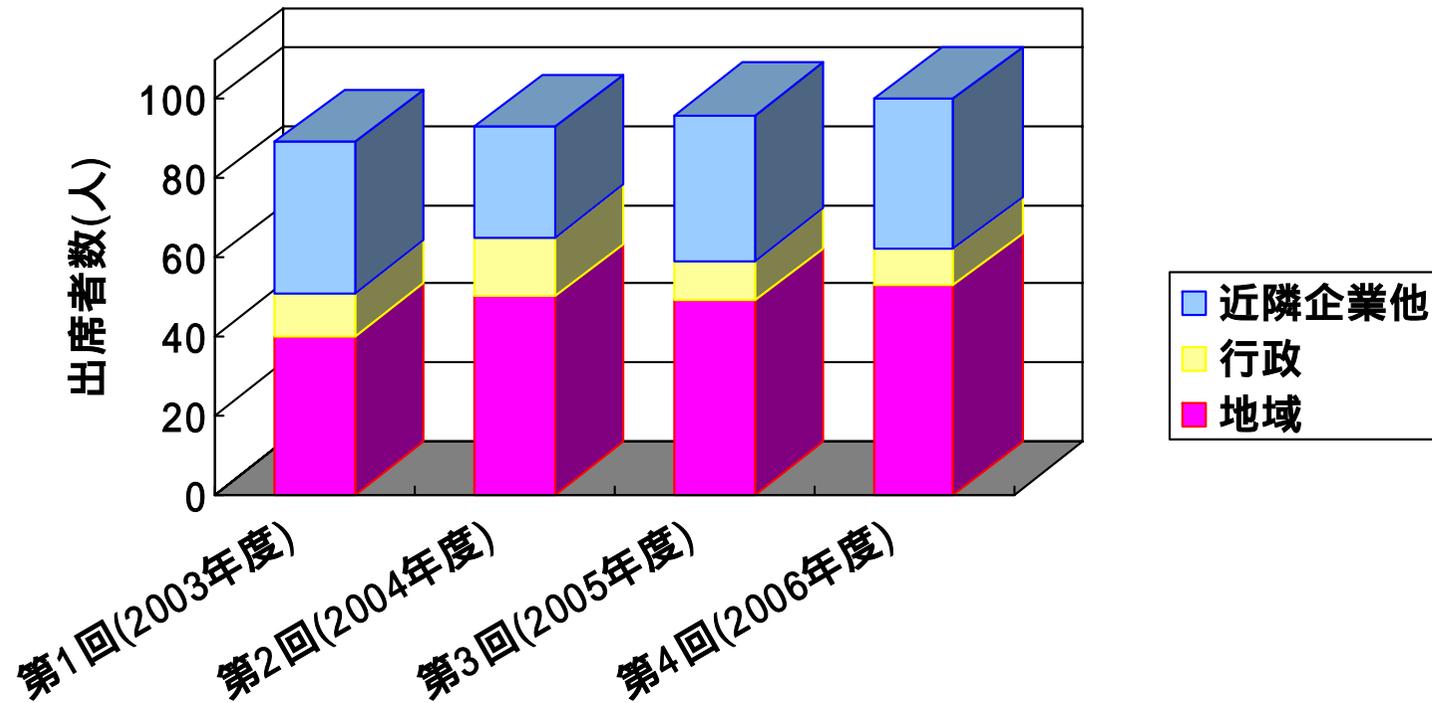


KUREHA

# RC地域対話集会出席者の構成

株式会社クレハ

RC地域対話集会出席者数と構成



地域の皆様との対話を主目的



地域の皆様を主体に出席をご案内

地域および行政の方々が約60%

KUREHA

# RC地域対話集会の内容

株式会社クレハ

第1回(2003年) JRCC事務局から化学工業界の活動紹介

いわき工場のRC活動全般の紹介

第2回(2004年) 福島県からリスクコミュニケーションの説明

化学物質排出抑制, 地域とのコミュニケーションについて

第3回(2005年) 福島県から石綿のリスクコミュニケーションの説明

排水管理について

グループ会社2社の会社紹介/RC活動報告

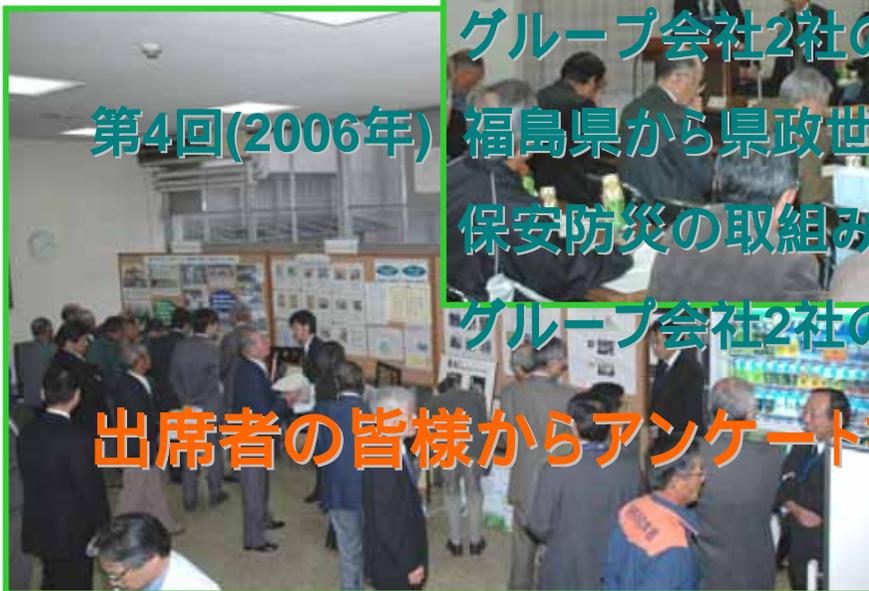
第4回(2006年) 福島県から県政世論調査結果の説明

保安防災の取組みについて

グループ会社2社の会社紹介/RC活動報告

出席者の皆様からアンケートを頂き、次回の対話集会に反映

KUREHA



# 双方向コミュニケーション紙「にしき」の発行

株式会社クレハ

創刊号 2002年8月1日

● 発行 ●  
呉羽化学工業株式会社 錦工場  
〒874-8888 福島県いわき市錦町落合16番地  
連絡先:総務部 ☎0246-63-5111/0246-63-4456  
<http://www.kureha.co.jp/>

昭和入組設立当時の錦工場 (1974年)

**錦工場 環境方針**

1. 公害の予防および地球環境保全のためのマネジメントシステムを確立し、維持します。
2. 環境に関する法規制、協定などを遵守し、更に自主的に基準を作り、一層の環境保全を図ります。
3. 緊急事態を想定し、危険の予防を含む緊急対応能力の維持向上に努めます。
4. 錦工場の環境影響を調査・評価し、目的および目標を設定し、環境影響の計画的・継続的な改善に努めます。特に、主要課題として大気汚染および水質汚濁の改善に取り組みます。
5. エネルギーおよび資源の有効利用に努めます。
6. 関連事業所を含む全構成員に環境教育を行い、環境保全意識を高く保ちます。

本紙「にしき」の由来

当社錦工場の名前は昭和9年、昭和入組第一工場として建設された時に、製材場の扉が北窓を向いてまげられました。

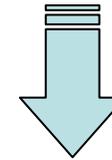
双方向コミュニケーション紙  
「にしき」をよろしく  
お願い

工場長 呉羽 隆夫

## 発行の背景

2002年8月1日創刊

1. 工場の情報を地域の皆様にお届けする
2. 皆様からの貴重なご意見をいただき、工場運営に活かす



## 双方向コミュニケーション紙

発行月:1, 5, 9月

配布数:3,540戸

最新号:第14号(先月発行)

KUREHA

にしき創刊号



# その他のコミュニケーション

株式会社クレハ

## 地域環境懇話会

地域の有識者の方々との少人数によるコミュニケーション

現在まで6回開催



第16回化学物質と環境円卓会議

## 県リスクコミ推進事業への協力

県主催リスクコミセミナー等での事例紹介

第16回化学物質と環境円卓会議への参加

## 工場見学受入

小中学校,各種団体等、年間約2,000人の見学者受入



工場見学

KUREHA

## <保安・防災> いわき工場総合防災訓練視察

いわき工場は危険物、高圧ガスを取り扱う工場



保安防災は最も大切な責務

グループ会社含め1,250名の参加

地域住民の方々の信頼に応えていきます。



行政機関・周辺10地区の区長さんに見学して頂き、  
終了後には皆様から貴重なご意見を頂きました。

# その他のコミュニケーション

株式会社クレハ



近隣の清掃ボランティア



地域行事への参加



近隣小学校等への理科授業支援

KUREHA

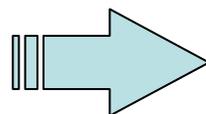
## ～いわき工場にとってのリスクコミュニケーションとは～

- ・関係者相互のコミュニケーションによる理解・信頼の向上
- ・地域・行政・事業者による安心作り

日頃から地域とコミュニケーションを図り、  
信頼感を高める事が重要と考えています。

## ～今後の取り組み～

- ・地域の皆様の要望
- ・リスクの極小化と報告
- ・対話の継続



「RC地域対話集会」を更に継続・  
発展させ、企業の社会的責任を  
果たしていきます

# KUREHA

御清聴ありがとうございました。

**KUREHA CORPORATION**

URL <http://www.kureha.co.jp/>

**KUREHA**

---